

## <会員による自著紹介>

# 大学生のためのレポート作成ガイドブック

西谷尚徳

立正大学

東京書籍 (2018年発行)

定価 540円(税込)



今般の大学教育では、初年次教育でも特にレポート・論文の書き方などの文章作法を身につけるためのプログラムが極めて多くの大学で実施されている。すなわち、初年次教育において学生の文章作法の習得が重要な課題である。

本書は、筆者の初年次教育における研究及び実践の成果として、レポート・論文の書き方の習得とその教育のためにまとめた一冊である。その目的は、初年次教育において学生が抱く文章表現への課題や悩みに応えること、そして文章表現の教育を担当する教員にも、指導のために授業内外において用いられることを想定している。

著者は、教育実践および学生実態調査を5年間にわたって行ってきた。その成果をもとに、論理的な文章を作成するためのプロセスとして簡潔かつ的確に示した。本書は3章構成で成り立つ。

第1章「準備編」では、レポートを作成するために基本事項の理解や書くための材料をそろえるポイントなど、学生の視点に立って準備の大切さを説いている。また、作成のための効率を考えたステップも提示している。

第2章「レベルアップ編」では、表記・表現だけでない意見のまとめ方や論証の秘訣といった文章表現、検索や引用といった情報リテラシー、体裁の整え方や注釈の書き方といった詳細事項など、学生の疑問に応じるかたちでまとめている。

第3章「チェック編」では、学生の実際のレポートを例に、レポートを作成し提出するまでの最終段階で行う作業を明解に取り上げている。学生自身で自己評価と事前チェックができるよう、その重要性とともに提示している。

学生が学術的文章を作成するたびに本書を利用されるだけでなく、これによって初年次教育における文章作法習得が涵養されることを目的としている。本書によって、学生が主体的かつ能動的に文章作法の基礎や表現の基本を習得されることを期待している。